

平成30年度岐阜県大会

生徒講評文

8月 3日 4校目

郡上 高等学校

レモン色の季節

(既成・創作)

テーマは『ぶつかり合い＝仲間と協力する』『決め付け』『青春』だと思いました。この劇は、気持ちバラバラだった演劇部員と先生がぶつかり合いながらも仲間と一致団結して脚本を作り上げていくストーリーです。

キャストは、声が大きくて会話のテンポも良く、一人一人の表情が豊かで迫真の演技となっていました。それらの演技は、見ている人をついつい劇に引き込む力があるように感じられました。一方で、キャスト同士の位置が被っていたり、役者の語尾が聞こえづらかったりするところも見受けられました。方言を使っているところと使っていないところがあったので、台詞の関係なのか役者の素の言葉なのか分からなかったため、内容に集中しづらいという意見もありました。

音響では、タイヤのねじの音に怖がるシーンで、怪談話の雰囲気作りが出来ていて良かったです。

照明では、帰り道の夕焼けのホリが明るい未来を表していると思いました。部長が責められているシーンでは、ピンスポを当てることで、部長に注目が注がれる工夫があつて良かったです。しかし、時の経過を表している暗転が長いという意見が出ました。

装置では、舞台装置の高低差による演出が良かったです。

衣装では、制服に統一感があつたが、靴だけバラバラで少し違和感があるという意見もありました。

脚本作りに情熱を注ぐ姿が青春そのものであり、青春のほろ苦さ、すっぱさをレモンで表したのではないかと思います。

郡上高校の皆さん、お疲れさまでした。

海津明誠高校 栗田優香

